

議会運営委員会の取り組み

議会改革全般への見直しと行政への政策提言ができるシステム構築へ向けて

そもそも議会とは何か。議会の一番の使命は、予算や事業の必要性などの行政全般の内容を、チェックすることです。さらに、住民の声を代弁する機関でもあります。

しかし、この議会という存在の必要性、重要性がなかなか理解されていないのが現実です。時には、町への要望がそのまま議会への要望となることも多く、予算の執行権を持たない議会としては、まず、議会の必要性を知ってもらうことが重要だと感じています。

そのため、今年度は議会改革全般に関する、先進地視察と研修を重ね、定数や報酬の検討、委員会活動の充実等、さまざまな角度から見直しをしていきます。また、委員会で視察や研究した内容を、政策提言として生かしていくシステムを構築していきたいと考えています。

年に4回の定例議会では、議会の様子、予算の仕組み、町の姿勢や取り組み、旬な話題等がわかります。初めて傍聴に来られた方からは「議場の雰囲気や議題の内容を知り、勉強になった。これからは機会があれば行きたい」という意見を多くいただきます。

まずは皆さんの税金がどのように使われ、町ではどんな事業に重点的に取り組んでいるのかに興味を持っていただきたいと思いますので、ぜひ、議場に足を運んでください。お待ちしております。

ロビーでも議会中継が見られます



平成28年第1回定例会から、役場の1階ロビーにおいて本会議の様子が見られるようになりました。議場の傍聴席まで来られなくても、気軽に議場のやりとりを見ていただけます。少しでも議会を身近に感じ、興味を持っていただけたらと思います。

- 委員長 備前島久仁子
副委員長 島田 榮一
- 委員 石内 國雄
笠原 則孝
三友 美恵子
浅見 武志

5/28 区長会・議会合同研修会

区長と議員が

「認知症サポーター養成講座」を受講

5月28日に恒例の区長と議会との合同研修会が開催され、超高齢化社会への対応について、認知症サポーター養成講座を受けました。認知症の知識や現状、サポーターの役割・対応法について、職員による分かりやすい寸劇を含めた研修内容でした。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれます。

予防法と脳トレーニング体操を学びました。町健康福祉課職員の明るく元気な説明を聞き、全体を通し75分間の講座はとても短く感じ、実りのある研修会でした。



脳トレ体操で楽しく認知症予防



支え合い、皆が安心して暮らせる社会のために

誰もが認知症についての正しい知識を持ち、当事者や家族を支える手だてを知っていれば「尊厳ある暮らし」を周囲で守ることができ、周囲で守ることができ、休息をはさみ、ふれあいの居場所づくりの必要性和町の現状を確認し、その後、認知症

玉村町議会から被災地へ義援金

玉村町議会は、日本赤十字社群馬県支部を通じて、平成28年熊本地震の被災地に議員全員で10万円の義援金を送りました。

日本赤十字社群馬県支部からは、地震発生時から被災地に救護班、災害医療コーディネーター等ネットチーム等を派遣し、被災者の救援を継続的に進めているとの報告を受けました。

被災地復興支援のために

議会だよりはホームページでも公開しています

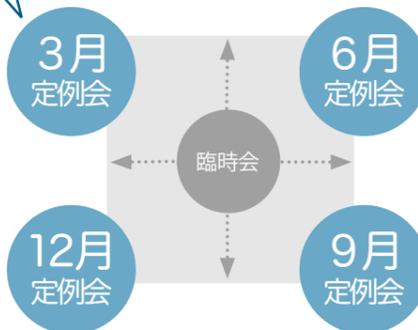
本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。ぜひ、アクセスしてみてください。



玉村町議会 検索

議会の傍聴をしてみませんか？

次年度の予算も審議します



玉村町議会では、3月、6月、9月、12月に定例会が開催されます。そのほかに、必要に応じて臨時会も開催されます。

昨年度の決算も審議します



傍聴は、どなたでもできます！詳しくは議会事務局まで。